

## 令和2年度使用小樽市中学校用教科用図書採択理由書

今回、新たに文部科学大臣の検定を経た教科用図書がないことや、現在使用している教科用図書は平成27年度に綿密な調査研究を十分行って採択したものであること、4年間使用してきたなかで特に問題が生じていないこと、来年は、令和3年度から使用する新しい教科用図書の採択があることから、引き続き、別紙の理由により、平成27年度に採択した教科用図書を採択する。

教科	発行者	採 択 理 由
国 語	(番号) 038 (発行者) 光村図書	<p>領域ごとに、学びの手順を統一するため「目標」「学習の窓」「学習をふり返る」「次へつなげよう」が設けられており、生徒が主体的に考え表現する過程を身に付けることができるよう工夫されている。</p> <p>互いの立場や考え方を尊重し、課題の解決に向けて協力し合ったり助言し合ったりする活動を通じて、コミュニケーション能力を育成することに重点を置いた内容構成となっている。</p> <p>各学年、情報教育に関する教材が掲載されており、情報の集め方やメディアリテラシー、情報発信について考えることができ、情報モラルについて意識を高めることができるよう工夫されている。</p> <p>巻末の資料「学習を広げる」には、本編と関連性のある補助教材等が豊富に掲載されており、補充的な学習や発展的な学習に活用することができる。</p>
書 写	(番号) 017 (発行者) 教育出版	<p>巻頭に、姿勢と用具の使い方が掲載されており、よい姿勢と筆記用具のよい持ち方が具体的に示され、書写を学習する際の基礎・基本がしっかりと身に付けられるようになっている。</p> <p>見開きのページの中で、毛筆と硬筆を比較したり確認したりすることができ、毛筆で学習した内容が硬筆の指導に反映できるよう工夫されている。</p> <p>行書教材は、行書特有の穂先の動きや筆の運び方が分かりやすいように二色の薄墨による解説図版が掲載されており、基礎・基本の定着を図ることができるよう工夫されている。</p> <p>手紙や案内状、礼状の書き方など、書写で学習した内容を様々な学習活動や日常生活でも生かすことができるよう、活用例が多数掲載されている。</p>
社 会 (地 理)	(番号) 017 (発行者) 教育出版	<p>巻頭の「地理にアプローチ」では、方位や距離などの基礎的な知識の習得、世界の略地図の描き方などの基本的な技能の習得について、作業活動を通じて理解が深まるよう工夫されている。</p> <p>1時間の授業が見開き2ページで構成され、授業展開や学習の見通しがつかみやすくなっており、学習課題と対応させた「ふりかえる」において、本時の学習内容の確認と話し合いなどの表現活動に取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>世界の各州や日本の各地方での事例をもとに、今日的な課題に迫る特設ページが設けられており、発展的な学習に取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>水産業の学習において、身近な話題を紹介するコラム「地理の窓」の中で、小樽の「にしん御殿」が紹介されている。</p>
社 会 (地 図)	(番号) 046 (発行者) 帝国書院	<p>巻頭の「この地図帳の使い方」では、資料とグラフを関連付けて自然や産業の特色を捉えるなど、地図の活用方法を確実に身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>学習課題を「やってみよう」の囲みで示したり、地域の地理的事象を読み取る着眼点を「地図をみる目」の囲みで示したりするなどして、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>基本図の後に「日本との結びつき」や「環境」などの資料図が掲載されており、系統的・発展的な学習ができるよう工夫されている。</p> <p>北海道については、「国土地理院の地形図を読みとろう」で函館市が例として掲載されるとともに、北海道地方のページで「開拓の歴史とアイヌ語地名」が紹介されており、北海道の歴史や自然環境について興味・関心を高められるよう工夫されている。</p>

教科	発行者	採 択 理 由
社会 (歴史)	(番号) 017 (発行者) 教育出版	<p>学習課題の上に、「時代スケール」が設けられ、これから学習する時代を視覚的に理解できるよう工夫されている。</p> <p>1時間の授業が見開き2ページで構成され、授業展開や学習の見通しがつかみやすくなっており、学習課題と対応させた「ふりかえる」において、本時の学習内容の確認と話し合いなどの表現活動に取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>各章末に設けられた「学習のまとめと表現」では、日本の動きと世界の動きを対比させた構造図が掲載されており、時代の移り変わりを大観できるよう工夫されている。</p> <p>北海道については、オホーツク文化と擦文文化、アイヌ民族と松前藩、蝦夷地のニシン漁、アイヌ文化を伝えた人たち、幌内炭鉱と開拓使麦酒醸造所など、アイヌや開拓に関する内容が充実している。</p>
社会 (公民)	(番号) 017 (発行者) 教育出版	<p>巻頭の「公民の学習を始めるにあたって」において、公民で学習する内容やノートづくりなど公民の学び方を丁寧に示すとともに、点字の実物を掲載し、生徒の興味・関心を高めるよう工夫されている。</p> <p>「公民にアプローチ」～新聞を活用しよう～のコーナーでは、新聞の特色や紙面構成などについて詳しく掲載されており、新聞の情報を公民の学習に生かすことができるよう工夫されている。</p> <p>1時間の授業が見開き2ページで構成され、授業展開や学習の見通しがつかみやすくなっており、学習課題と対応させた「ふりかえる」において、本時の学習内容の確認と話し合いなどの表現活動に取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>倶知安町の「みんなで親しむ雪条例」が掲載されており、北海道の事例から地方自治を考察することができるよう工夫されている。</p>
数 学	(番号) 002 (発行者) 東京書籍	<p>「学び合い」において、式や図などを使って多様な考えを伝え合う言語活動を示すとともに、章末や巻末の「活用の問題」では、全国学力・学習状況調査の数学Bの類題が取り上げられており、数学的な思考力や表現力を育成することができるよう工夫されている。</p> <p>「まちがい例」では、多く見られる誤答例が取り上げられており、誤りを見付け正しく直すことで、同じ誤りを繰り返さず基礎・基本を確実に定着できるよう工夫されている。</p> <p>「数学のまど」や「社会とつながる」では、社会や職業における数学の活用が取り上げられており、数学を学ぶ意義や有用性を実感することができるよう工夫されている。</p> <p>グラフ用紙や作図のスペースが広くとられており、生徒が作業しやすいよう工夫されている。</p>
理 科	(番号) 061 (発行者) 啓林館	<p>実社会や実生活との関連や最新の科学技術の例など、自然の豊かさや多様性が紹介されており、理科を学習する意義や有用性を実感することができるよう工夫されている。</p> <p>別冊「マイノート」が、カラーになり見やすくなるとともに、学習の整理と段階的な復習ができる確認問題や活用問題が多数掲載されており、書くことで科学的な思考力や表現力を育成することができるよう工夫されている。</p> <p>小樽市の「漁業用ガラスの浮き玉の製造」や羊蹄山、古平町での金星食の観測の図版を使用するなど、北海道に関わりのある内容が多数掲載されている。</p> <p>文字は、読みやすい大きさと、字間や行間も広がっており、強調された理科の用語が判別しやすくなっている。</p>

教科	発行者	採 択 理 由
音楽	(番号) 027 (発行者) 教育芸術社	<p>学習内容が一目で分かる「音楽学習 MAP」が掲載され、それぞれの教材で何を学習するのが分かりやすく表示されている。</p> <p>「My Voice!」では、歌うときの姿勢や豊かな響きの歌声をつくるための具体的な方法、「指揮をしてみよう!」では、指揮をするときのポイントを分かりやすく解説しており、発声や指揮に関する基礎的な技能を確実に身に付けることができるよう工夫されている。</p> <p>歌唱教材は、歌いやすい曲から難易度の高い曲まで幅広く取り扱われているとともに、鑑賞教材には「映画音楽」が掲載されるなど、生徒の興味・関心が高まるよう工夫されている。</p> <p>器楽の学習では、様々な演奏写真や楽器の写真が豊富に掲載されており、生徒が楽器への憧れをもって学習に取り組むことができるよう工夫されている。</p>
美術	(番号) 038 (発行者) 光村図書	<p>「作者の言葉」が随所に取り上げられ、言語を通して制作者である作家や生徒の心情や意図が、より理解できるよう工夫されている。</p> <p>「発想・構想のヒント」のマークや「みんなの工夫」のコーナーでは、生徒が表現活動をする際に発想を広げたり、構想を練ったりするためのヒントが随所に盛り込まれている。</p> <p>鑑賞のページでは、作品名や作者名を別のページに掲載するなどして、生徒が感じ取ったことを自由に話し合うことができるよう工夫されている。</p> <p>原寸大の作品ページの端にスケールが印刷されており、作品の大きさを実感することができるよう工夫されている。</p> <p>「君の椅子プロジェクト」や「モエレ沼公園」、「アイヌ文様」など北海道ゆかりの作品や文化をふんだんに取り扱っている。</p>
保健体育	(番号) 224 (発行者) 学研	<p>1時間の授業が見開き2ページとなっており、「学習の目標」及び「キーワード」が明記されていることで基礎・基本の定着が図られるとともに、「活用しよう」では、課題解決的な学習が展開できるよう工夫されている。</p> <p>各章末の「探究しようよ!」では、今日的な健康問題などが取り上げられており、生徒の興味・関心が高まるよう工夫されている。</p> <p>各章末の「章のまとめ」では、用語の確認、基礎の完成、活用の問題の3段階となっており、学習内容の確実な定着が図られるよう工夫されている。</p> <p>オリンピックやパラリンピックの内容が充実しているとともに、様々な職業が紹介されており、生徒が意欲的に学習することができるよう工夫されている。</p>
技術・家庭	(番号) 009 (発行者) 開隆堂	<p>1時間ごとに「学習の目標」が明記され、学習の見通しが立てやすくなっており、「ふり返り」では、自己評価の欄が設けられ、学習したことを振り返ることができるよう工夫されている。</p> <p>技術分野における木材による製作や、家庭分野における調理などの手順の示し方が丁寧で分かりやすくなっている。</p> <p>技術分野・家庭分野それぞれに「豆知識」や学習に関連する素材、製品の写真が豊富に掲載されており、生徒の興味・関心が高まるよう工夫されている。</p> <p>環境との関わりについての記述が多く、循環型社会や持続可能な社会の構築について意識を高められるよう工夫されている。</p> <p>本文と資料、写真のレイアウトが良く、全体的に分かりやすい構成となっている。</p>

教科	発行者	採 択 理 由
英 語	(番号) 009 (発行者) 開隆堂	<p>小学校外国語活動で培われたコミュニケーション能力の素地を生かすために、第1学年の1学期の言語材料の大半が一人称と二人称で提示されており、音声から文字への円滑な移行が図られている。</p> <p>基礎的な学習項目を各 Program の冒頭に <b>Basic Dialog</b> として示し、基礎・基本の確実な定着が図られるよう工夫されている。</p> <p>ペア活動やグループ活動が多く取り入れられており、生徒同士が教え合い、学び合うなどの協働学習が充実している。</p> <p>全学年の巻末に「英語で『できるようになったこと』リスト」が設けられ、定期的に学習状況とその成果を振り返り、チェックすることができるよう工夫されている。</p> <p>日本の伝統文化である落語を英語で読み、課題として演じることを通して、日本の伝統と文化を尊重する態度を養うことができる。</p>

※ 特別支援学級で使用する教科用図書（文部科学省著作教科書）については、本市においてもこれを必要に応じて使用するものとする。